

情報汚染対策のための 包括的な協力体制に向けて

新聞記者→デジタルメディア創刊編集長→独立→Google



Photo: Shunichi Oda

古田大輔
ジャーナリスト/メディアコラボ代表

福岡出身、早稲田大学政経学部卒業。

朝日新聞記者:2002年に入社。京都総局、豊岡支局、社会部、アジア総局(バンコク)、シンガポール支局長を経て、2013年からデジタル編集部。

BuzzFeed Japan創刊編集長:2015年に退社。に就任し、2016年1月に日本版をローンチ。ニュース&エンターテイメントを記事、動画、ソーシャルで展開。3年で日本有数のデジタルメディアに。

株式会社メディアコラボ代表取締役:2019年6月に独立。組織を超えたメディアの協力と発展を支援する会社を設立し、ジャーナリスト/メディアコンサルタントとして活動。

Google News Labティーチングフェロー:2020年9月に就任。

その他に、ファクトチェック・イニシアティブ理事、Online News Association Japanオーガナイザー、NIRA 総研上席研究員、早稲田大非常勤講師など。著書に「子どもを育てられるなんて思わなかった」(編著、山川出版)、「フェイクと憎悪」(共著、大月書店)、「ジャーナリズムは歴史の第一稿である」(共著、成文堂)、「YOUTH QUAKE」(共著、よはく舎)。

ニューヨーク市立大院 “News Innovation and Leadership” 2020修了

米国務省 International Visitor Leadership Program “Integrity of Journalism” 2018修了

フェイクニュースとはなにか

「フェイクニュース」に明確な定義はない

文献	単語	定義
総務省「日本におけるフェイクニュースの実態」	フェイクニュース	定まった定義はないが、なんらかの利益を得ることや意図的に騙すことを目的としたいわゆる「偽情報」や、単に誤った情報である「誤情報」や「デマ」などを広く指すもの
Cambridge Dictionary	fake news	インターネットやその他のメディア上で拡散される、ニュースのように見えるストーリー。政治的な影響を与えることを目的とするか、あるいはジョークとして作られる。
	disinformation	人々を欺く目的で拡散される誤った情報。

You're fake news!

(レッテル張り/悪魔化に使われやすい)



「フェイクニュース」という言葉の問題

"「フェイクニュース」という言葉は役に立たないということはすでに全員が同意している。それでも、他に選択肢がないために、その言葉を使うたびにカギカッコつきの留保をせざるをえない。言い換えを探すときに苦労するのは、これはたんにニュースだけを指す言葉ではないからだ。これは情報の生態系全体に関する問題だ。"

([Fake news. It's complicated.](#) Crare Wardle)

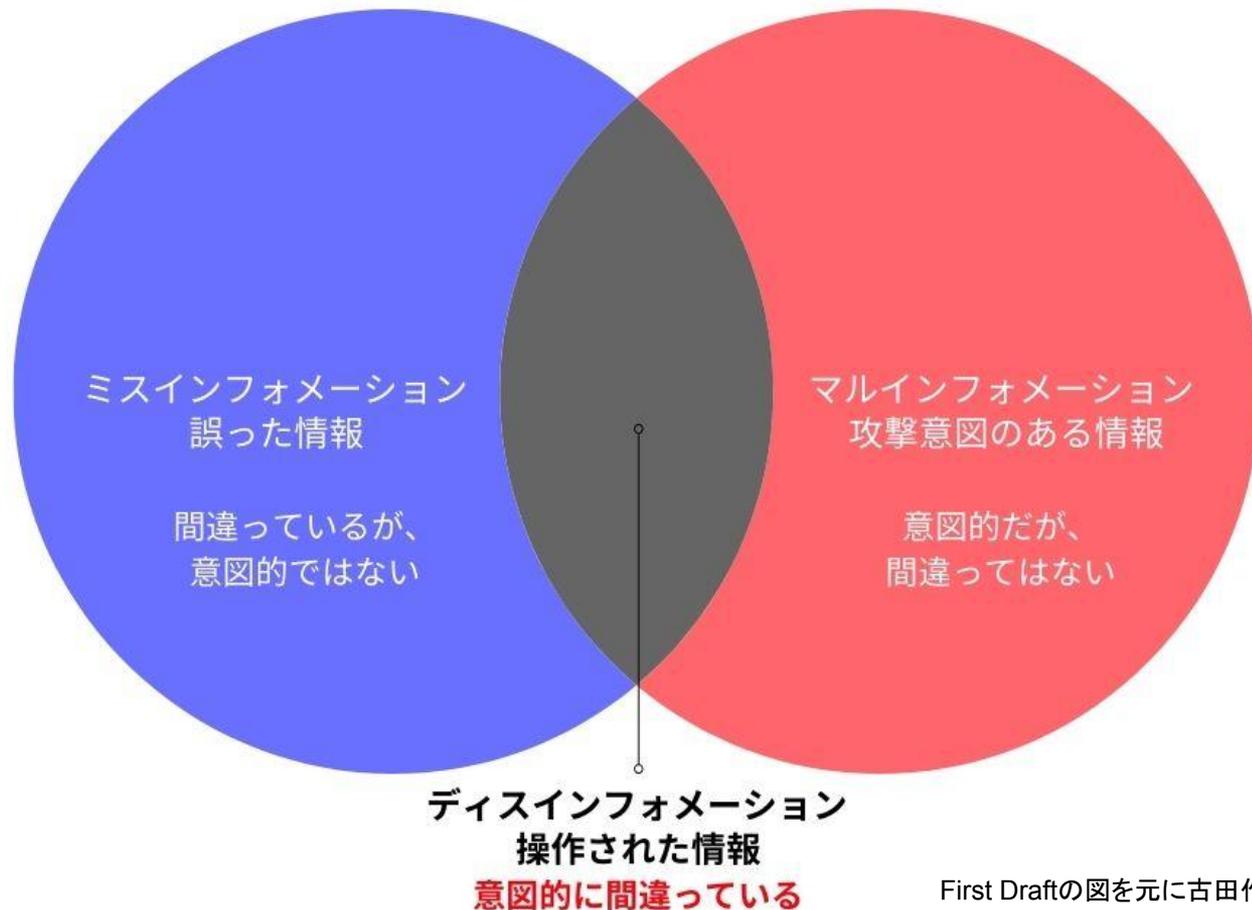
情報の混乱(Information Disorder)

情報の混乱要因の3分類

	Misinformation (誤情報)	Disinformation (偽情報)	Malinformation (攻撃意図のある情報)
定義	意図せずして誤った情報	意図的に偽造されたり、改ざんされたりした情報	対象を貶め、攻撃する悪意を持って流す情報
事例	意図せず間違っている全ての情報。風刺が事実と受け止められて広がる事例なども	意図的に歪められたり、受け手をミスリードして印象操作したりする情報	政治や選挙で対立する陣営を攻撃する情報や、ヘイトスピーチ、誹謗など

※いずれも悪影響があることには変わりがない。

情報生態系を汚染するインフォメーションの3分類



3つの情報は複雑に絡みあって情報生態系を汚染する

例: AのBに対する情報戦

1. AがBに関するマルインフォメーションとディスインフォメーションを発信。
2. Bがディスインフォメーションに対して「誤っている」と反論。
3. Aはマルインフォメーションをもとに「間違っていない」と再反論。
4. Bの信頼性が落ち、ディスインフォメーションに対する正当な反論も無効化。
5. Bはディスインフォメーションに対する反論もやめる。
6. AがBを攻撃する情報がさらに拡散。
7. 中間層はAからの情報ばかり聞くことで、Bに対して悪感情を抱く。
8. Bに対する真偽が不確かな悪評がより拡散しやすくなる。
9. 情報生態系は汚染され、さらなる汚染を受け入れやすくなる。

情報の混乱はなぜ危険か

新型コロナウイルスとワクチンで全人類が直面した問題

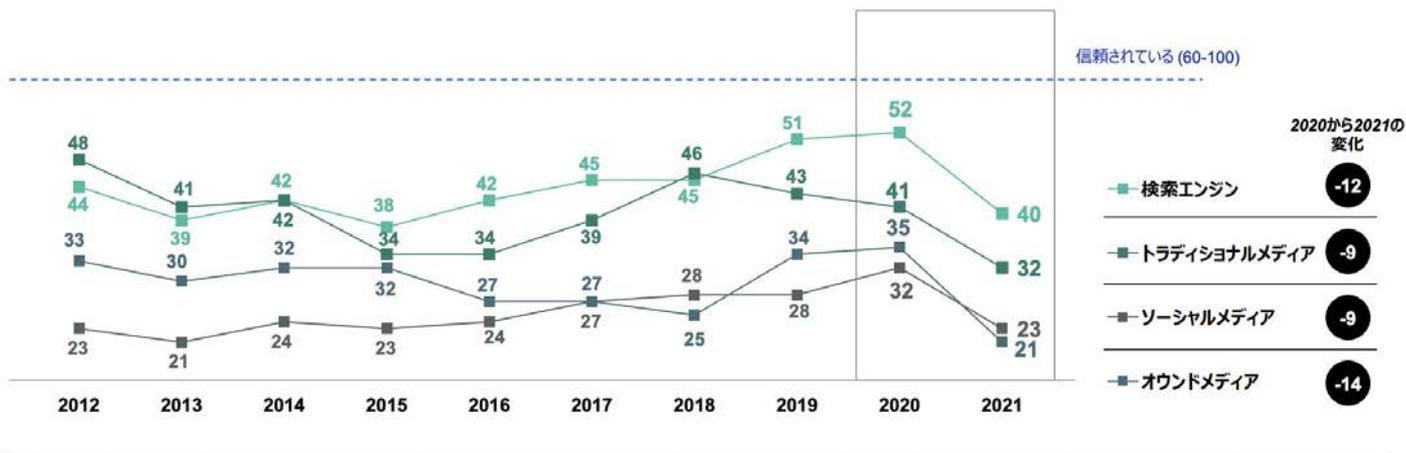
- マスク着用
- 外出の自粛
- 企業・経済活動の自粛や規制
- ワクチンを打つか
- どのような政策を支持するか

これらの判断はすべて、個々人が自ら受け取った情報を元に判断する。情報生態系の汚染は、間違った情報に基づいた間違った判断に繋がる。

情報の混乱はあらゆる情報の信頼性を低下させる

全ての情報源に対する信頼度は、過去最低レベルにまで急落

一般的なニュースや情報に関する情報源への信頼度 (%) 日本



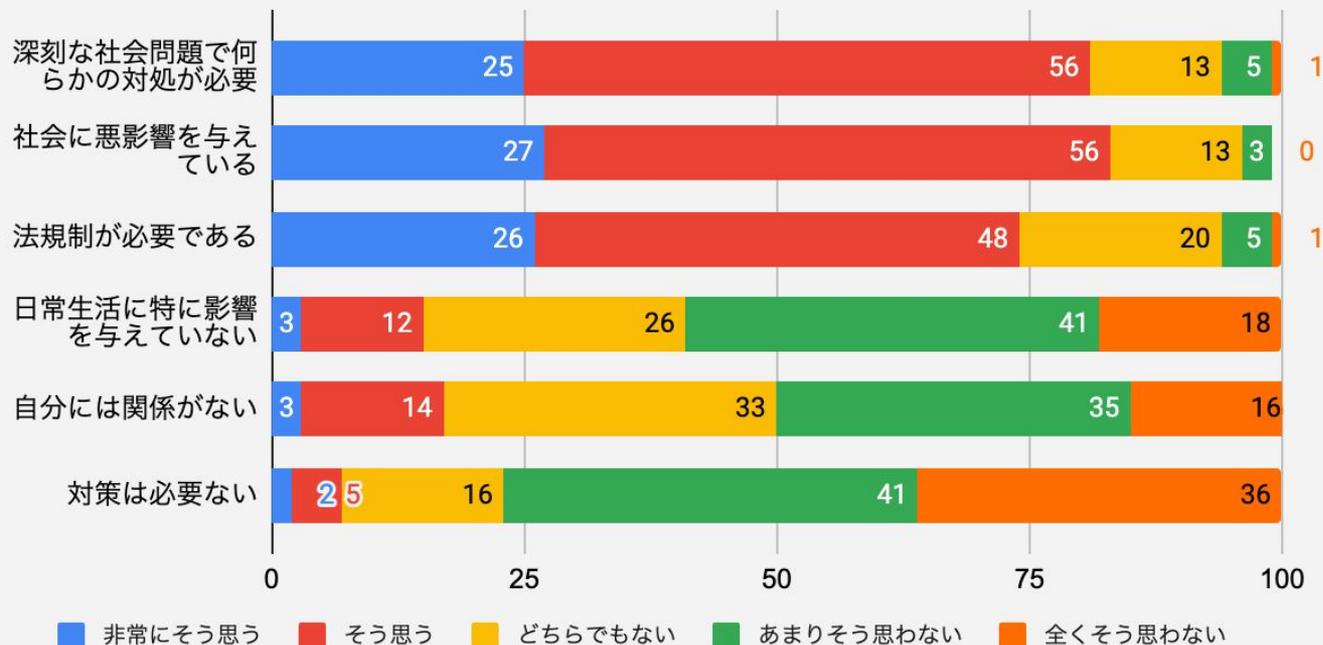
2021 Edelman Trust Barometer. COM_MCL 一般的なニュースや情報を探す際に、次の各情報源がどの程度信頼できるかを答えください。
1は「全く信頼していない」、9は「大いに信頼している」を表す、1~9までの範囲で信頼度を評価してください。9段階評価；トップ4ボックス、信頼している サンプルの半数が回答 全回答者 日本



コロナ前から日本社会の危機感が高まっていた

フェイクニュースについてどう考えているか(n=9614)

日本におけるフェイクニュースの実態と対処策 (2020年、GLOCOM)



情報汚染に対抗するには

5つの対抗策

- **ファクトチェックの実践**
 - 報道機関やファクトチェック団体だけでなく個人でも。
- **メディア・リテラシー(ニュース・リテラシー)教育**
 - メディアを活用する能力。特にニュースなど情報を読み解く能力。
- **質の高い情報の普及**
 - 質の低い誤った情報が広がる前に、良貨で悪貨を駆逐する。
- **法的な規制**
 - フェイクニュースの拡散を法的に取り締まる。
- **業界によるルール作り**
 - メディア業界、プラットフォーム、各業界による自主的な取り組み。

ファクトチェックとは何か

ファクトチェック＝「事実の客観的な検証」

公開された言説を客観的に検証可能な事実について言及した
事項に限定して真実性・正確性を検証し、その結果を発表す
る営み

(ファクトチェック・イニシアティブ)

事実を推測や判断から切り分ける



雲が出ている



雨が降りそうだ



傘を持とう

事実を推測や判断から切り分ける



雲が出ている
(事実の提示)



雨が降りそうだ
(推測)



傘を持とう
(判断・行動)

ファクトチェックは「雲が出ているか」を検証する

- 雲が出ていない→誤まった情報
- 雲はほとんど出ていない→不正確な情報
- 雲は出ているが雨雲ではない→ミスリーディングな情報

「雲は出ていない。だから傘は必要ない」まで書くと「オピニオン」

雲が出てなくても、傘を持つ自由が個人にはある

そして、それを論評する自由もある

企業や業界の取り組み

フェイクニュースと闘う味の素 ニューヨークから世界へ情報発信

「中華料理店シンドローム」信じている人、まだいませんか？



by **Waki Matsunaga**

松永和紀 BuzzFeed Japan, Contributor / 科学ジャーナリスト

 [最初のコメントを書く](#)



グルタミン酸ナトリウム、MSG（Mono Sodium Glutamate）、あるいはうま味調味料、そしてアンチの人にとっての呼び名は“化学調味料”。どれも、味の素（株）が売っている赤いキャップのあの製品の事です。あなたは、食べるのを避けますか？ それとも気にしませんか？

"Journalism for a better tomorrow"

<https://media-collab.com>
daisuke@media-collab.com
Twitter: @masurakusuo